



加工機械・材料の総合展 「第6回高機能プラスチック展」に出展

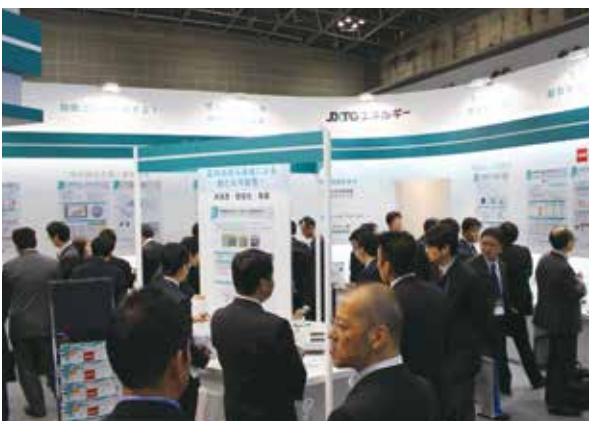
当社機能材カンパニーは、東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催された「第6回高機能プラスチック展（4月5日～7日）」に出展し、高耐熱樹脂およびナノ加工関連の開発品を中心に素材と技術の紹介を行った。同展示会では、国内のみならず、韓国、中国をはじめとする海外のお客様にも数多くご来場いただき、特に、高耐熱性の熱可塑性樹脂である液晶ポリマー「ザイダー®」の2つの新グレード（接着性改善グレード、摺動性グレード）が注目を集めるなど、ターゲット材分野の顧客のみならず、新規分野の顧客にも当社素材を紹介することができ、新たなニーズ発掘につながる良い機会となった。

また、昨年度に引き続き、同日の同場所で開催された「第4回高機能金属展」に出展していたJX金属とも連携し、お互いの出展製品を紹介しあうことで、JXTGグループとして、最先端の素材、技術をアピールすることができた。

（機能材カンパニー 機能材事業企画部 機能材R&D管理グループ 西澤 剛）

当社の主な出展内容

- 微細コネクタやスマートフォンのカメラモジュール等高精密部品向けの素材として、世界最高レベルの耐熱性を有する液晶ポリマー「ザイダー®」
- 車載部品等向けに新開発の高摺動（摩耗・摩擦が小さい）樹脂、およびゴム並みの柔軟・復元性を持つ熱可塑性エラストマー「ジェラティック®」
- 電子部品用接着剤等向けの素材として、低粘度・高耐熱性脂環式エポキシ化合物
- 次世代の高性能ディスプレイ向け素材・技術として、架橋アクリルポリマー微粒子「ENEOS ユニパウダー®」の各種グレード、透明ポリイミドモノマー、およびナノインプリント技術を活用した反射防止、曇り防止技術
- 高性能フィルター、吸音材向け素材として、マイクロファイバー不織布



当社出展ブースの様子



液晶ポリマー「ザイダー®」の展示物



各賞受賞

「かながわ地球環境賞」を受賞

当社は、2017年2月1日に、神奈川県における水素ステーションの展開に関して、「平成28年度かながわ地球環境賞」を受賞した。

「かながわ地球環境賞」は、かながわ地球環境保全推進会議と神奈川県が地球環境保全に向けた実践的活動や温室効果ガスの排出削減に寄与する優れた取り組みを行った団体（企業、行政、学校、NPO等）や個人に対し、その功績を称え表彰を行っているものである。

当社の神奈川県における11箇所の水素ステーション設置の取り組みが、「かながわスマートエネルギー計画^{注1)}」の推進に寄与したものと、同賞四部門の一つの「かながわスマートエネルギー計画部門」での受賞となった。

注1) 神奈川県が、再生可能エネルギーの導入に向けた目標や基本政策等を定めたものであり、その基本政策の一つとして、燃料電池自動車の普及や啓発等の「水素エネルギーの導入」を推進する計画。



左から佐々木水素事業推進部長、
黒岩神奈川県知事

「2016年度精密工学会論文賞」の受賞について

当社蓑田社員が北九州工業高等専門学校、九州大学大学院と共同で発表した論文「TPP^{注1)}を用いた多給糸FW法^{注2)}によるCFRP^{注3)}容器の開発—遷移層における積層角度変化が強度に及ぼす影響—」が、「2016年度精密工学会論文賞」を受賞し、3月14日に慶應義塾大学日吉キャンパスにて贈賞式が行われた。

精密工学会論文賞は、毎年同学会誌で発表された「ものづくり」に関わる論文を対象に、もっとも独創性に優れ、工学的および工業的価値の高い論文の著者に贈賞される。

本論文は、当社の水素ステーションにも多数採用されているCFRP容器の新たな製造技術に関するものであり、生産性の高い多給糸FW法と、強度解析等による実験データで裏付けされた遷移層の有効性評価が工業的利用価値を向上させたことが高く評価された。

なお、本研究はNEDO事業「アルミ製ライナー低コスト複合容器蓄圧器の開発」により実施したものである。

注1) 繊維束に樹脂を含浸させたもの、トウプリプレグ
注2) 複数の給糸口から同時に繊維を供給して積層を行なう手法
注3) 炭素繊維強化プラスチック



左から精密工学会青木会長、
蓑田社員（新エネルギーカンパニー水素事業推進部、
現 中央技術研究所先進エネルギー研究所）、
田淵助教（北九州工業高専、現鹿児島大学）